

改造概要等説明書(改造自動車等審査結果通知書)

指示事項

.....
.....
.....

主要諸元比較表 (改造車・製作車・組立車)

項目	原車	改造車	差異	項目	原車	改造車	差異
車名	東京	東京	—	乗車定員人	—	—	—
型式	TL201-226	—	—	最大積載量kg	2000	—	—
自動車の種別	普通	—	—	車両総重量kg	前軸軸重	7405	≤10t
用途	貨物	—	—		前軸軸重	—	≤10t
車体の形状	セミトレーラ	—	—		後軸軸重	9320	≤10t (1.9t)
燃料の種類	—	—	—		後軸軸重	9325	≤10t
原形機形式	—	—	—	計	26040	≤22t	—
総排気量l	—	—	—	最大安定傾斜角度	右 5/	—	≤35°
長さmm	2800	2800	—	左 5/	—	—	≤30°
幅mm	1480	1480	—	前軸軸	—	—	—
軸間mm	3610	3610	—	タイヤ	—	—	—
軸距mm	前軸軸	—	—	サイズ	3.25R15-18PF	—	—
	後軸軸	1850	—	前後軸	—	—	—
室内又は荷台の内寸法	長さmm	4930	—	後後軸	3.25R15-18PF	—	—
知の寸法	幅mm	2800	—	検査時クイヤ荷重	—	—	—
	高さmm	—	—	割合	—	—	—
車両重量kg	前軸軸重	1320	—	%	90.5	≤100	—
	後軸軸重	—	—	検査時前軸荷重割合	90.4	≤100	—
	後軸軸重	2360	—	リフ・オーバーハングmm	—	—	≤15、20%
	後軸軸重	2360	—	荷台オフセットmm	1.640	—	≤12、20/3L
計	6040	—	最小回転半径mm	1.875	—	—	
					8.2	≤12	—

能力強度等検討

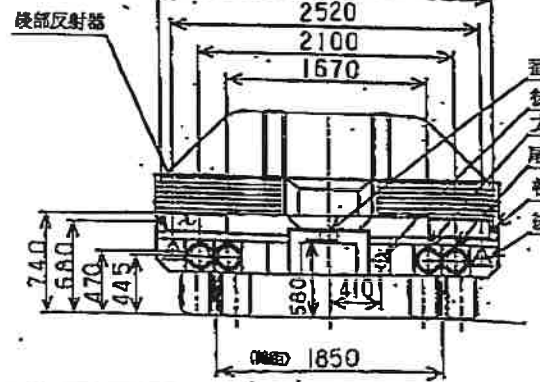
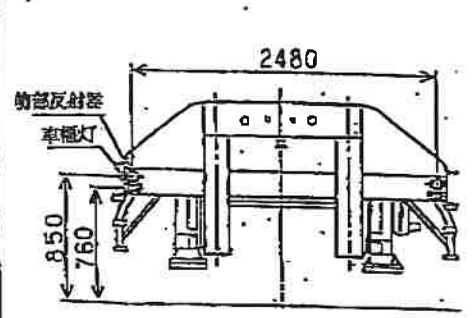
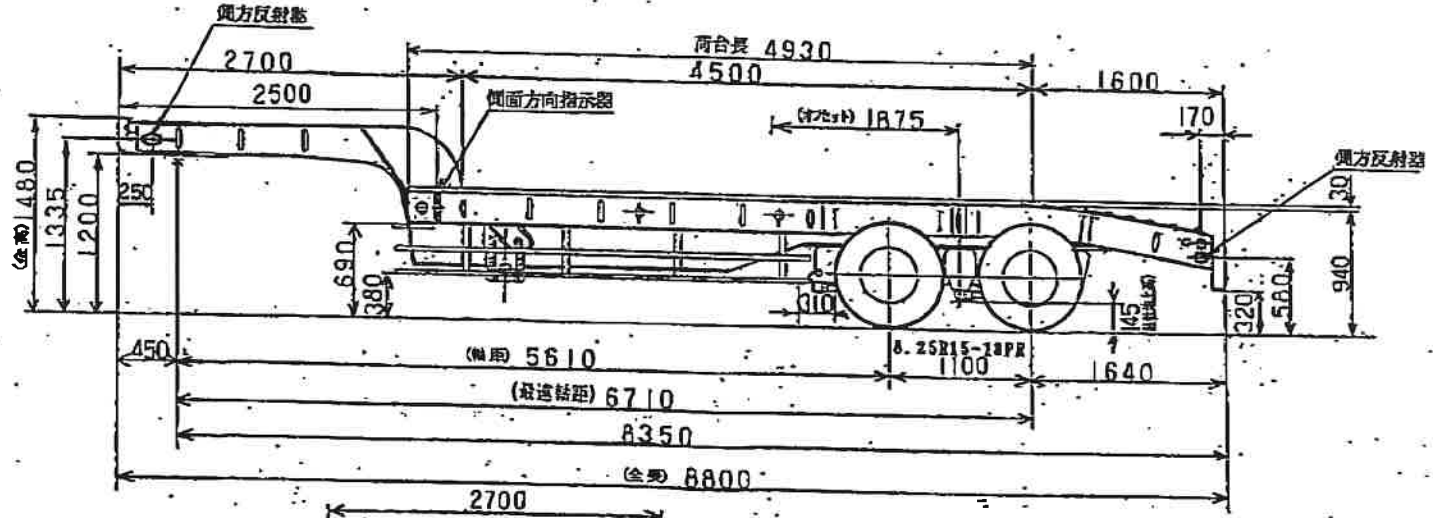
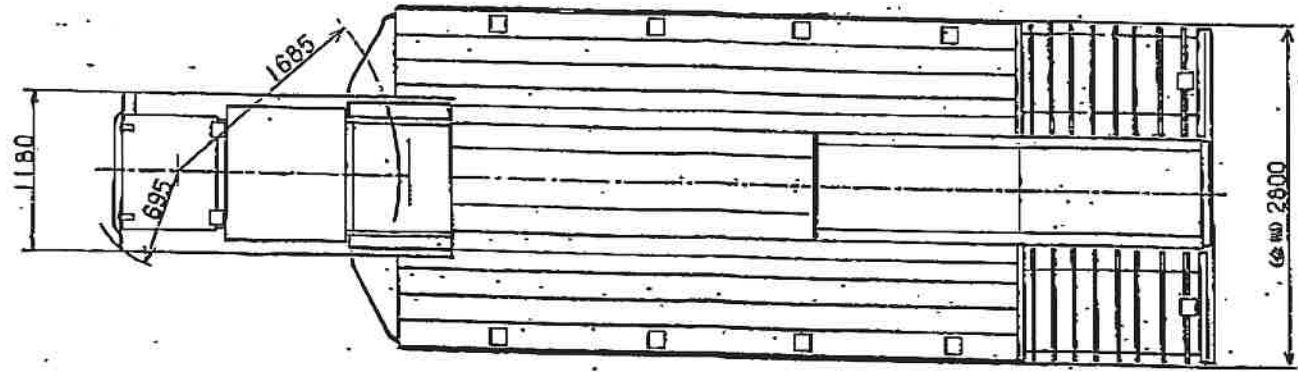
到達能力	—	≥0.038	車体強度	σ _a /σ = 5000 (254+25) 2.6	>1.6	
勾配能力	—	≥0.125	車軸強度	σ _a /σ = /	>1.6	
制動能力	降力	1/50	18.2	操縦装置強度	σ _a /σ = /	>1.6
	空気圧	7	kg/cm ²	制動装置強度	σ _a /σ = /	>1.6
操縦装置	回転数	N _r /N	/	駆動装置強度	σ _a /σ = /	>1.6
	強度	σ _a /σ	/	連結装置強度	σ _a /σ = /	>1.6

注1. (改造車・製作車・組立車)の原形には、該当するものをOで囲むこと。
注2. 能力強度検討は、該当しないものは、省略したものはXを記入すること。
注3. 車印は、三菱 W-FP419DR トラクタと連結時の計算値を示す。

改造等の概要

目的	当該車輛は分割不可能なる重量物の安全輸送を計る為に新たに製作したものである。
車枠及び車体	全体的構造は梯子型で主レールとアウトリガー及びクロスメンバーは電気溶接で組まれており、前部の下面にキングピン、後部に車輪取付の装置を付けている。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	東京TE26H6F2型セミトレーラ (6自管第506号新型自動車第15614号) と同一のものを使用している。
操縦装置	
制動装置	東京TE26H6F2型セミトレーラ (6自管第506号新型自動車第15614号) と同一のものを使用している。ABS取付(BOSCH製)トラクタとトレーラが分離した時制動にかかる非常中継弁を取付けている。但し、駐車ブレーキのみスプリング式に変更している。
緩衝装置	東京TE26H6F2型セミトレーラ (6自管第506号新型自動車第15614号) と同一のものを使用している。半楯円重ね緩衝器を使用している。
連結装置	東京TE26H6F2型セミトレーラ (6自管第506号新型自動車第15614号) と同一のものを使用している。JIS-D-6602に準じて製作してある。
燃料装置	

注 変更のない事項については、斜線を記入すること。



品名	数量	単位	R	質量	Kg	東邦車輛株式会社
製 図		製 図				
野南	中野	担世				
8-7-24	8-7-25					
京急TL201-226型						
セミトレーラ 全体図						D5203-7056-0A